

<復興プロジェクト>

命の石碑プロジェクトを知っていますか？震災後女川第一中学校の生徒がはじめたプロジェクトです。女川町内21箇所に東日本大震災の津波を伝えるための石碑を建てる取組です。

昨年9月に女川町に行き、村上教育長さんから直接その取組について説明を受けてきました。1200年前の平安時代の貞観(じょうがん)の大地震を伝える石碑も残っています。

女川町ではたくさんの人達が津波の被害に遭いなくなりました。漁業も甚大な被害を受けて生きる望みを失いかけていたときに中学生が立ち上がりました。後世に津波被害を伝える石碑を建てるための、100円募金です。町内の人だけでなく全国の多くの人達から募金を集めることで広く津波の怖さを知ってもらい、防災につなげてもらおうと修学旅行でも街頭募金をしました。

震災から10年、一つの区切りを付け振り返ると同時に、決して震災の記憶を風化させることなく前を向いていくこと。

私たちに何ができるか。秋保中学校では1年生の校外学習、2年生の野外活動、そして今年度は3年生の修学旅行でも震災学習をしてきました。また6月の地域防災訓練では橘川先生の体験を伝えてもらいました。これからも震災について理解し、被害を防ぐのはどうしたらよいか、防災に役立て、次の世代に伝えていくことが大切です。

10年目のふるさと復興プロジェクトであらためてその意味を深く考えたいと思います。